| 学校番号 | 3027 |
|---|---|

# 令和８年度　地歴公民科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 日本史演習 | 単位数 | 3単位 | 年次 | 3年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 705　詳説日本史（山川） | | | | | | |
| 副教材等 | 日本史図録（山川）　ウイニングコンパス日本史の整理と演習（とうほう） | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・日本史探究やこれまで学んだ近現代史につながる知識の獲得に焦点をおきます。
・皆さんは、まず持続的な歴史的教養となり得る知識の獲得に励んでください。
・授業は講義型の授業と問題演習との組み合わせを基本として行います。
・本授業では見て、聞いて、書いて、理解して知識を習得することに加え、主体的に取り組む姿勢を評価します。
・解説のメモや疑問に思ったことを書き留めるなど、自分なりの記憶方法が見られるノートの作成を期待しています。
・インプットだけでなく、問題演習への取り組み、出題者の意図などを考えるための問題作成、「教える」ことで「覚える」ための反転授業など、アウトプットにも積極的に参加しましょう。

2　学習の到達目標

歴史総合、日本史探究で学んだ知識を応用する力を高めるとともに、歴史的事象についての論述力を養うことをめざす。歴史的な見方・考え方を働かせながら、世界史や地理との関連についての理解を深め、国際的な視野を広げるため次の資質・能力を育成することをめざす。

【知識及び技能】

これまで身につけた知識を活用しながら、諸資料を適切に読み取り、歴史的事象の理解を深めるとともに、他の歴史的事象との関連付けを行い、知識を応用する力を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】

資料や文献等を使用し、歴史的事象を多面的・多角的な観点から考える歴史的思考力を身に付け、歴史事象の客観的な立場や自らの考えを適切に文章にまとめ、表現する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】

現代の歴史に関わる諸事象を自らの生活との関連において構想し、多面的・多角的に考察をすること態度を養い、我が国の文化や歴史についての理解を深めるとともに、他国の文化や歴史を尊重することの大切さを自覚する。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | これまで身につけた知識を活用しながら、諸資料を適切に読み取り、歴史的事象の理解を深めるとともに、他の歴史的事象との関連付けを行い、知識を応用する力を身に付けている。 | 資料や文献等を使用し、歴史的事象を多面的・多角的な観点から考える歴史的思考力を身につけ、歴史事象の客観的な立場や自らの考えを適切に文章にまとめ、表現している。 | 現代の歴史に関わる諸事象を自らの生活との関連において構想し、多面的・多角的に考察しようとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1 | 農耕社会の成立から古墳・大和政権 | 日本文化のあけぼのについて、遺跡や墓制の知見を通し、遺構・遺物から人間の営為を知ることの重要性を学ぶ。 | a:参考書の空欄箇所について、7割程度を知識として獲得できている。<br>b:考古学の観点から、歴史を考察する上で物証や史料の重要な役割が理解できる。<br>c:ノートに授業中の解説メモや煩雑な情報の図解など創意工夫が見られる。 | 考査 | 論述演習<br>ワークシート | 提出ノート |
| | 律令国家の形成・貴族政治と国風文化 | 古代と中世の境目となる時代に対し、問題演習を通じ、当時の生活洋式の変化を捉えられるようになる。 | a:　参考書の空欄箇所について、7割程度を知識として獲得できている。<br>b:　文献史料を含む問題演習から、古代への知見を用い、判断できる。<br>c:ノートに授業中の解説メモや煩雑な情報の図解など創意工夫が見られる。 | 考査 | ワークシート | 提出ノート |
| 2 | 中世社会の成立 | 鎌倉幕府の機構と史上初の武士による政治の特性を、問題演習を通して知る。 | a:　参考書の空欄箇所について、7割程度を知識として獲得できている。<br>b:　土地制度史の変遷が武士登場のきっかけとなっていることを思考し、表現できる。<br>c:土地制度史の変遷を図解にまとめることができる。 | 考査 | 論述演習<br>ワークシート | 観察 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 武家社会の成長 | 室町幕府から戦国時代への歴史の変遷について、特に一般民衆の社会機構の変化から知見を得る。 | a:参考書の空欄箇所について、7割程度を知識として獲得できている。<br>b:諸史料から、室町幕府の政治考察し、表現できる。<br>c:ノートに授業中の解説メモが見られる。 | 考査 | ワークシート | 提出ノート |
| | 幕藩体制の確立と展開 | 江戸幕府の成立から、その隆盛について、問題演習を通して知識を定着させる。 | a: 参考書の空欄箇所について、7割程度を知識として獲得できている。<br>b:データやグラフの読み取りを通じ、当時の人々の暮らしを理解し、表現できる。<br>c:ノートに授業中の解説メモが見られる。 | 考査 | ワークシート | 提出ノート<br>観察 |
| | 幕藩体制の動揺 | 幕末から明治にかけて、日本史上で最も大きな社会変動が見られるうちの一つの時代区分を、世界史との結びつき、日本史上における国家的イデオロギーの成り立ちを知る。 | a: 参考書の空欄箇所について、7割程度を知識として獲得できている。<br>b:諸史料とデータを組み合わせ、歴史的背景に応じた政策がどのように行われたかを考察している。<br>c:ノートに授業中の解説メモや時系列を整理した独自の表など、情報の整理について創意工夫が見られる。 | 考査 | 問題作成ワークシート | 提出ノート |
| | 近代国家の成立 | 西欧覇権国家が主導する世界の一体化における、日本の国内外に対する施策と文化的変動を知る。 | a:参考書の空欄箇所について、7割程度を知識として獲得できている。<br>b:新聞や広告史料から当時の社会情勢について考察している。<br>c:ノートに授業中の解説メモなど創意工夫が見られる。 | 考査 | ワークシート | 提出ノート |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 | 二つの世界大戦とアジア・占領下の日本 | 帝国主義国家間における世界の覇権争いがもたらした二つの世界大戦に至る経緯を多角的に捉え、大戦の要因となった歴史的事象について考察する。 | a:参考書の空欄箇所について、7割程度を知識として獲得できている。<br>b:映像資料から、二つの世界大戦が、日本史にとどまらず人類史に大きく影響を与えたことを考察している。<br>c:ノートに各国の国際情勢に関する図解を記すなど創意工夫が見られる。 | 考査 | 論述演習<br>ワークシート | 提出ノート |
| | 高度成長の時代 | 二つの大戦を経た日本の現代に至るまでの歩みを、占領と冷戦、東アジア国際情勢を踏まえて論述できる。また、高度経済成長期以降の文化史を中心に、その背景にある政治的な思惑、国際情勢に対して考察を行なう。 | a:参考書の空欄箇所について、7割程度を知識として獲得できている。<br>b:映像資料から、現在に至るまでの日本国における主要な出来事について理解し、その成立過程で下された政治的決断、経済・金融政策などについて考察し、客観的な史実に基づく近代史観を、論理立てて整理、表現できる。<br>c:ノートに授業中の解説メモや情報の図解など創意工夫が見られる。 | 考査 | 反転授業発表への参加 | 提出ノート<br>観察 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度